

ウッドバッジ実修所第二教程 ベンチャースカウト課程 セッションの目標

	セッション	セッションの目標
第1日	§ 1 グループディスカッション (150分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 訓練ニーズを共有し、プログラムトレーニングに対する多様な課題を理解する。 2. プログラム上の疑問、問題点、原因、現象を明らかにし、整理することができる。
	§ 2 ベンチャー活動のバランス (150分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムをスカウト教育法の面から評価・考察する。
	§ 3 ベンチャープログラムの展望 (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベンチャープログラムの進め方を理解する。 2. コース中で実施・展開するプログラムについて理解する。
第2日	§ 4 プログラム企画Ⅰ (180分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スカウトニーズの多様性について理解する。 2. ニーズを掘り下げるための方法・手法を理解する。 3. 企画のあり方について理解する。 (目的と目標＝活動目標をスカウトに理解させる)
	§ 5 プログラム企画Ⅱ (150分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムの企画をもとに、目標（活動目標）達成のための計画書が作成できる。 2. 個人のニーズをグループニーズとして集約し、目標に反映させるためには、スカウトのニーズを分析したり、他のニーズと結びつけたりする能力が必要であることを理解する。 3. スカウトのニーズをもとにプログラムの複数の目標（活動目標）が設定できる。 4. プログラム企画を一層実りのあるものとするために適切なアドバイスが必要であることを理解する。 5. ベンチャースカウト部門での活動ではスカウト自らが安全対策及び安全管理を行うことが重要であることを理解する。
	§ 6 プログラム企画Ⅲ (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人ニーズの発現によるプログラムが学校・地域社会などで広く認められ評価される必要性について深く認識する（個人ニーズに発現によるプログラム企画が社会性を持つようにスカウトに指導できる。）。 2. プログラムの完成度とスカウトの成長の関係について深く認識する。
	§ 7 プログラムの評価Ⅰ (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価について理解する。 2. プログラム企画の各段階における評価の重要性を理解する。 3. 明確な評価基準の設定ができる。 4. グループ目標・グループ目的の達成のために必要とされる評価の観点を理解する。 5. プロジェクトの達成がスカウトの成長にどのように寄与するか、または寄与したかを深く認識する。 6. 専門的評価の必要性について理解する。 7. 社会的評価（保護者・団などのスカウト関係、地域＝市・県などからの評価）を得るためには関係者との良好な人間関係が必要なことを理解する。

	セッション	セッションの目標
第 3 日	§ 8 プログラム実習 (180分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画に従って計画が立てられる。 2. 計画書に沿ったプログラム実施ができる。 3. 計画書から必要な資材や支援を読み取り、対応することができる。 4. 安全対策の適否を現実の活動をもとに検証することができる。 5. ベンチャープログラムを達成するために必要な技能について深く理解する。
	§ 9 プログラムの評価Ⅱ (60分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. プログラム報告書を作成し、進歩の度合いを評価できる。 2. プログラム報告書の提出に至るまでの指導の要点を理解する。 3. プログラムプロセス全体の評価ができる。
	§ 10 社会へのアプローチ (90分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スカウトが実施するプログラムが保護者、地域、社会を巻き込んで実施される必要があることを理解する。
	§ 11 改善点の発見 (165分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持参したプログラムの改善点を発見し、そのプログラムがスカウトにとってより良いプログラムとなるよう見直すことができる。 2. より実りある豊かなプログラムの実施のために必要な支援・援助について理解する。 3. スカウト自身の気づきとしてプログラムを改善させるための支援・援助について理解する。
	§ 12 実りあるベンチャープログラム (75分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後のベンチャー活動プログラム展開に向けて指導者が身につけておくべき知識・技能・心構えについて認識する。
第 4 日	§ 13 実務訓練に向けて (120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第三教程（実務訓練）の取り組みについて理解し、その具体的な内容、方法を明確にする。